

ランチョンセミナー24

テーマ

安心・安全で患者満足度の高い
アンチエイジング治療

～QスイッチNd:YAGレーザー&フラクショナルIPL～

2026年6月28日(日) 第3日目 12:30～13:20

場所 パシフィコ横浜 ノース 4F 第9会場 G401

現地開催 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-2

本会ランチョンセミナーは整理券制となります。

■配布日時(予定) 6月28日(日) 7:30～12:00(※無くなり次第、終了)

■配布場所: パシフィコ横浜 ノース 1F ホワイエ

1) おひとり様一枚限り、開催当日分のみ発行となります。2) 整理券の配布は先着順のため、なくなり次第終了させていただきます。3) 配布時間終了後、整理券が残っている場合は、各セミナー会場前で配布します。4) 整理券はセミナー開始と同時に無効となります。5) 各セミナー会場には、整理券をお持ちの方から、優先的にご入場いただけます。6) 整理券をお持ちでない場合でも、各セミナーの参加状況により、ご入場いただける場合があります。



座長 佐井泌尿器科・皮フ科クリニック 院長

佐井 雄一 先生

演者



1 皆川クリニック 院長

皆川 真吾 先生

「泌尿器科医でもできるシミ・美容治療」



2 皮フ科かわさきかおりクリニック 院長

川崎 加織 先生

「次世代フラクショナルIPL「SHINY」によるシミ・美肌治療の検討
-Cellテクノロジーがもたらす高い治療効果と安全性の両立-」

共催

第26回 日本抗加齢医学会総会 / TMKメディカル株式会社

医療とともに未来を

TMK
medical

TMKメディカル株式会社

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内三丁目5番10号

名古屋丸の内ビル6F

TEL: 052-253-7707

第26回 日本抗加齢医学会総会

ランチオンセミナー24

安心・安全で患者満足度の高いアンチエイジング治療 ～QスイッチNd:YAGレーザー&フラクショナルIPL～

座長 **佐井 雄一** 先生

佐井泌尿器科・皮フ科クリニック 院長

演者 **皆川 真吾** 先生

皆川クリニック 院長

【目的】泌尿器科クリニックにおいて、自費診療の導入は単なる収益確保に留まらず、アンチエイジングに関心の高い患者層へのQOL向上に寄与する重要な戦略である。近年は年齢問わず、容貌の変化に対しても敏感な人が多く潜在的なニーズを抱えている。非美容専門医である泌尿器科医が、スマートリオンQ（QスイッチNd：YAGレーザー）を用いて安全かつ効果的にシミ治療や肌質改善を取り入れるための運用法と、その有用性について報告する。

【方法・原理】QスイッチNd：YAGレーザーは、ナノ秒単位の極めて短いパルス幅で高エネルギーを照射する。これにより、周囲組織への熱損傷を最小限に抑えつつ、標的となるメラニン色素を選択的に破壊する「選択的光熱融解理論」に基づいた治療を可能にする。スマートリオンQはスポットシミ治療のみならず、特徴的な治療モードを有する。一つはGenesisモード（ロングパルス1064nm）であり、真皮上層への熱刺激によりコラーゲン再生を促し、小じわや赤ら顔を改善する。もう一つは、カーボンオイルを塗布して照射するカーボントーニング（カーボンピーリング）である。これはレーザーがカーボン粒子に反応して蒸散する際の物理的刺激と色素への反応を高めるため、肌全体のシミ・くすみを改善する効果を発揮する。これらの組み合わせにより、シミ・くすみから毛穴・肌質改善まで、包括的な皮膚ケアが可能となる。

【結果・考察】Genesisモードとカーボンピーリングによる肌質およびシミ・くすみの改善治療は、ダウンタイムが極めて短く、炎症後色素沈着などの合併症リスクも低いため、非専門医であっても安全性を担保した導入が可能である。運用面では、診察時にシミの種類や肝斑の有無を診断し、プロトコルを策定すれば、実務としての照射は看護師に委託できる。これにより、多忙な保険診療外来と並行して効率的な運用が実現できる。

経営的なメリットとしては、トーニングやGenesisは複数回の施術を前提とするため、リピート率が高く安定したキャッシュフローを生む。また、看護師が自費診療に携わることで、スキルの多様化とモチベーション向上が期待できる。

【結論】適切な診断と機器特性の把握、そしてリスク管理を徹底することで、泌尿器科においても高品質な美容診療は十分に提供可能と考えられる。保険診療を軸としつつ、自費診療をハイブリッドに運用することは、現代のクリニック経営において必須であり、極めて有用な成長戦略となり得る。

演者 **川崎 加織** 先生

皮フ科かわさきかおりクリニック 院長

抗加齢医療においてIPL治療は光老化改善の主軸であるが、治療効果の追求と熱傷リスクの低減をいかに両立させるかが課題である。本講演では、独自の照射理論により安全性と高い臨床効果を実現した最新フラクショナルIPLシステム「SHINY」の有用性を検討した。

SHINYの核心は、照射面を1.4mm四方の微細なセル140個に分割して格子状にエネルギーを届ける「Cellテクノロジー」にある。これにより、標的組織への十分な熱伝達と、セル間の「セーフティーゾーン」による低侵襲性を同時に実現している。標準搭載の7種類のフィルター（415nm～755nm）を用い、色素斑、毛細血管拡張、肌のハリ等の改善を目的とした多角的なアプローチが可能である。臨床症例では、雀卵斑や赤ら顔の改善に加え、真皮層への熱刺激による皮膚の質感向上など、包括的なエイジングケア効果が確認された。特に415nmフィルターは表層のメラニンに高い反応性を示し、効率的な治療が可能であった。安全性に関しては、万一の過剰照射時でも、エネルギーが分割されているため単一の大きな熱傷を避け、瘢痕を残さない微細な小水疱に留めることが示された。SHINYは、優れた冷却機構とフラクショナル化により、ダウンタイムを抑えつつ最大限の効果を引き出すことが可能である。本装置は、抗加齢医療において「高い臨床効果」と「偶発症リスクの最小化」を両立する極めて有用な選択肢である。